

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立義務教育学校玉湯学園後期課程）

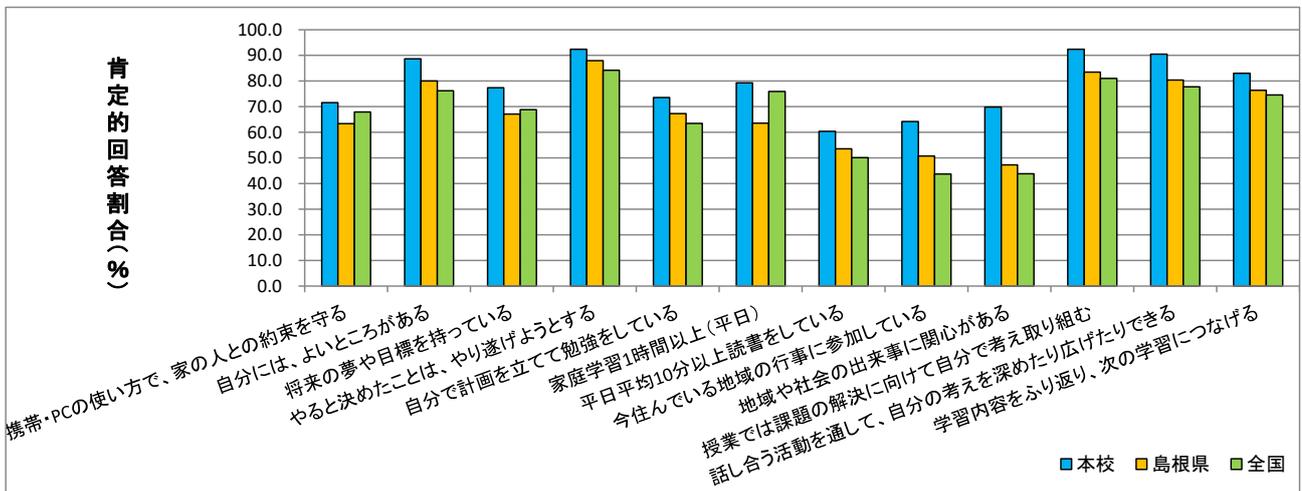
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
国語	○やや上位の層と中位層のやや下に位置する生徒が多く、平均すると、多くの設問で全国や県を上回っている。 ○書く力を問う5つの設問に対して、9ポイント以上上回っている設問が3問ある。	・日頃から、「書く・文字化する」学習に粘り強く取り組んでいることが成果として表れていると考えられ、引き続き活動を継続していきたい。
数学	○14問中、7～12問正答している生徒が県や全国と比べて多く、県と10ポイント、全国とは約6ポイント上回っており、中から上位層が多いと言える。 ○全体的に無回答率(全国比)が良好であることから、粘り強く問題に向かっていることが伺える。 ●全国と比べて3ポイント以上下回っている設問は2問であった。	・ポイントが下回っていたのは、数の性質、グラフの特徴、平行四辺形の証明などの説明をする問題であった。基礎・基本の力を高める活動に合わせて、説明が求められる問題の訓練を繰り返していきたい。

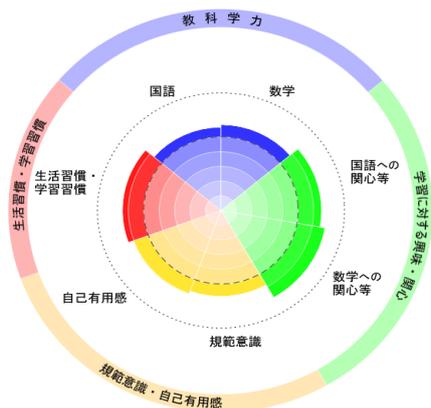
(2) 生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
	○平日、授業時間以外に勉強している時間の割合で、1時間以上していると答えている生徒の割合は79.3%であり、全国と比べて3.4%高い。 ○平日読書している生徒の割合が全国、県を上回っている。 ●平日、ゲームをしている生徒の割合の中で、最も多いのは1～2時間であり、全国と比べて18.5%高い。また、3～4時間の割合も5%高い。	・家庭での過ごし方で、メディアに費やす時間と学習時間の確保について引き続き助言をする。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・全教科を通して、文章を読み取る力や表現力をさらに強化していきたい。

【受検者数】 51 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。